<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設•事業所情報

◇施設・事業所情報				
名称:わかさと保育園		種別:認可保育所		
代表者氏名:田中 良治		定員(利用人数):60名		
所在地: 〒 223-0053				
横浜市港北区綱島西6-3-13				
TEL: 045-546-0551		ホーム	ムページ:https://wakasato.site/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日:2016年04月01日				
経営法人•設置主体(法人名等):社会福祉法人若里				
職員数	常勤職員:16名		非常勤職員:4名	
専門職員	(専門職の名称): 名		看護師:1名	
	保育士: 15名		管理栄養士:1名	
	栄養士:2名			
施設•設備	(居室数)		(設備等)	
の概要	居室:O歳児室		設備:調理室	
	居室:1.2歳児室		設備:遊戯室	
	居室:3歳児室		設備:沐浴室	
	居室:4歳児室		設備:調乳室	
	居室:5歳児室		設備:更衣室	
			設備:事務所兼医務室	
			設備:幼児用トイレ	
			設備:大人用トイレ	
			設備:園庭	

③理念•基本方針

<基本理念>

保育に欠ける子どもを心身ともに健やかに保育すること

<基本方針>

様々な関わりを通して感性を磨き、可能性を伸ばすこと

④施設・事業所の特徴的な取組

<保育目標>

強い子 元気な子

〈園として大切にしていること〉

- 1. 一人ひとりの個性を大切にした保育
- 2. 保護者とのコミュニケーション
- 3. 職員の資質向上

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年08月02日(契約日) ~
	2022年12月28日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回(2017年度)

⑥総評

【わかさと保育園の概要】

- ●わかさと保育園は、社会福祉法人若里(以下、法人という)により設立されました。 法人は、昭和2年に福井県で託児所、保育園を創業し、現在、幼保連携型認定こども園 を経営・運営している歴史と伝統を有しています。平成28年4月に横浜に都市型の保育 園として「わかさと保育園」の展開を図り、平成31年には横浜市鶴見区に「みゆさと保 育園」を設立し、神奈川県下2園を運営しています。法人全体で、保育目標に「強い子 元 気な子」を掲げ、保育理念・保育方針と共に職員全体、保護者に浸透を図るべく保育所 の使命として保育に当たっています。
- ●わかさと保育園は、マンション1階部分全体を園舎とし、園舎に沿って十分な広さの園庭を有し、遊具も設置され、園庭の端では夏野菜等を栽培し、食育に寄与しています。園周辺には公園や文化施設が充実し、広く整備された歩道、のびやかな景色の環境の中、子どもたちは楽しく散歩に出かけています。各保育室は、生活するスペースとして必要最小限確保し、大きく広々とした遊戯室(プレイルーム)を設け、雨天でも子どもたちが十分に体を動かせる空間があり、異年齢での活動や各クラスの活動的なプログラム等に大いに活用しています。わかさと保育園の子どもたちは戸外遊び、室内遊びを存分に行い、元気いっぱいに過ごしています。

◇特長や今後期待される点

1. 【保育士の質の向上への取組】

わかさと保育園ではマニュアルを基に、職員研修に力を入れています。設立から7年が経過し、前回の受審から見て研修計画のプロセスの成果により、経験値の高い職員の自主的な行動・判断力、若い職員のスキルも成長が大きく見られ、良い保育が実践されています。「WAKASATO NURSERY SCHOOLマニュアル」の広く網羅されたわかさと保育園の基本・根幹の浸透が進み、保育士を短期で戦力になる体制を構築し、先輩職員が後輩職員にノウハウの伝授に努め、さらなる保育士のスキルアップを図り、園作りを進めています。

2. 【遊戯室(プレイルーム)の活用】

わかさと保育園の大きな特徴は、遊戯室(プレイルーム)の設定にあります。園舎内のスペースの中で大きな遊戯室(プレイルーム)を設け、ダイナミックな異年齢保育等が展開されており、〇歳児も時折、一緒に遊びます。5歳児のパワフルな遊び、3歳児の「楽しい」に思うがままの年代の遊び、1歳児は興味をコントロールできない年代としての遊びが混在し、躍動感溢れる遊びが自然な形で展開されています。そこには保育士の適切な配置、年上の子どもの配慮等、上手く融合した遊戯室(プレイルーム)の活用が見事に織りなされています。

3. 【さらなる保育士の質の向上について】

わかさと保育園では独自のマニュアルを基に、職員研修・教育に力を注ぎ、活用した実務等を経験値の高い職員に権限移譲し、自主的な行動・判断を推奨し、経験値の高い職員と若手職員のギャップを埋めるべくして園での標準化を図るよう努めています。設立

後7年、運営、職員のスキルは急速に成長していることは十分に理解でき、良い保育が行われています。さらに、若手職員が実務上において技量が向上していくことを重要と思われます。具体的に全体が見えるスキルを身に付けていかれることを期待いたしております。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名:わかさと保育園

<評価(自己評価等)に取り組んだ感想>

日々、行っていることを普通に行ったため、特別に何かを準備していない。

<評価後取り組んだ事として>

- 1. 研修(外部)への参加
- 2. 各種計画の検討

⑧第三者評価結果 別紙2のとおり